

請願第5号 長崎市平和公園スポーツ施設の再配置に関し慎重丁寧な調査検討を求める請願について

(目次)	(ページ)
1 請願第5号に対する市の見解	3
2 検討経過について	4~11

土木部

市民生活部

令和4年11月

1 請願第5号に対する市の見解

平和公園西地区におけるスポーツ施設の再配置に関する検討については、令和3年6月に「長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会」を設置し、再整備基本計画の策定に着手しており、この中で、スポーツ施設の再配置に係る基本的な考え方として、「市民総合プール、庭球場の一部、弓道場」を平和公園に再配置する施設、「ソフトボール場、陸上競技場」を別途検討する施設とする考え方を示したところである。

特に、市民総合プールについては、屋内に50mプールを有する県内唯一の施設であり、必要とする面積が大きく、公共交通によるアクセス性の確保が必要な施設であるため、移転先が限定される。そのため、再配置先の候補地として、物理的条件や立地的条件を踏まえ、平和公園内の陸上競技場エリアと中部下水処理場跡地を選定し、比較検討した結果、陸上競技場エリアが適地であると整理している。

一方、陸上競技場については、敷地の一部を市民総合プールの再配置先とする中で、利用者のうち大部分を占める外周園路（600m走路）や芝生広場については、市民の日常的な休息や散歩、ジョギング、ラジオ体操など多目的に利用されており、平和公園としての付加価値を高める機能であることを踏まえ、その機能を確保する方向で考えているが、400mトラックを現在地にそのまま配置することは物理的に難しく、限られた敷地の中で、練習環境をどのように確保していくか、関係者と協議を行いながら検討を行っている。

以上のことから、現時点で既に移転先が限定的である施設については、先行して再配置先を整理することとしており、それ以外の施設については、継続して検討を行っていくこととしている。

いずれにしても、限られた敷地の中で、全てのスポーツ施設の機能をそのまま維持することは困難であるため、各競技団体との意見交換や要望内容を踏まえながら、各スポーツ施設の利用者はもとより、スポーツ以外の目的で公園を利用される市民や、観光客なども含め、日常的に集い安らげる空間となるよう、現在あるものを維持するだけでなく、これからの需要も見極めながら、将来に渡って持続可能な公園となるよう幅広い視点から、今後も丁寧に検討を進めていきたい。

2 検討経過について

(1) 長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会

ア 設置目的

平和公園の再整備基本計画の策定にあたり、多様な関係者や関係機関の参画のもと、公平・中立性の見地から審議を行うべきであることから設置するもの。

イ 設置年月日

令和3年6月1日

ウ 委員構成

学識経験者、関係行政機関、スポーツ・平和・商工業・観光・環境・教育・障害者・地域活動団体、公募市民 全16名（次頁名簿参照）

エ 委員会の検討状況（実績および今後の予定）

区分	開催時期	調査審議事項
第1回 【済】	令和3年7月27日	○委員会の設置、正副委員長の選出 ○審議内容、スケジュール等の確認 ○平和公園の概要、沿革、現状等の整理
第2回 【済】	令和3年9月28日	○上位計画・関連計画等の整理 ○平和公園（西地区）を取り巻く状況、特性、課題等の整理 ○基本方針の検討
第3回 【済】	令和3年12月14日	○基本方針の検討 ○ゾーニング・ゾーン別整備方針の検討 ○動線・景観形成等の考え方の検討 ○市政モニターアンケート結果の報告
第4回 【済】	令和4年8月25日	○基本方針の整理 ○ゾーニング・ゾーン別整備方針の検討 ○動線・景観形成等の考え方の検討 ○既存スポーツ施設再配置計画の基本的な考え方の検討
第5回	令和4年12月～ 令和5年1月頃	○ゾーニング・ゾーン別整備方針の整理 ○動線・景観形成等の考え方の整理 ○既存スポーツ施設再配置計画の基本的な考え方の整理 ○今後の検討課題など
第6回	令和5年1～2月頃	○基本計画（案）の取りまとめ

長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会委員名簿

令和4年7月1日時点

所 属	職 名	氏 名
長崎県立大学地域創造学部公共政策学科	教授	西岡 誠治 ◎
長崎大学水産・環境科学総合研究科	教授	渡辺 貴史 ○
九州大学芸術工学部環境設計学科	准教授	高取 千佳
長崎県土木部	参事監	坂田 昌平
(公財) 長崎市スポーツ協会	理事長	渡辺 雄児
(公財) 長崎平和推進協会	事務局長	中川 正仁
長崎商工会議所 都市整備委員会	委員長	鈴木 茂之
(一社) 長崎国際観光コンベンション協会	専務理事	浦瀬 徹
特定非営利活動法人環境カウンセリング協会長崎	会員	佐藤 恵
長崎市PTA連合会	副会長	松本 光生
(一社) 長崎市心身障害者団体連合会	理事	富永 真理子
平和公園地域まちづくり協議会	会長	深堀 義昭
山里地区連合自治会	会長	久米 直
城山校区連合自治会	会長	古賀 信恕
斜面地・空き家活用団体つくる	代表	岩本 論
市民(公募委員)		島内 昌司

◎委員長、○副委員長

(2) 各競技団体等からの要望

年月	要望団体	要望内容
令和4年1月	長崎市ソフトボール協会	●移転場所、施設（機能面）について
令和4年1月	長崎市水泳連盟	●移転場所、施設（機能面）、附属設備について
令和4年1月	長崎市テニス協会、長崎市ソフトテニス連盟	●移転場所、施設（機能面）について（口頭要望）
令和4年1月	長崎市弓道連盟	●移転場所、施設（機能面）について（口頭要望）
令和4年2月	長崎市陸上競技協会	●400mトラックの存続について
令和4年3月	陸上競技団体 （陸上愛好会、中学・高等学校陸上部、クラブチーム、実業団など26団体）	●陸上競技場の現地存続について
令和4年5月	長崎市宮松山平和運動公園を守る会	●陸上競技場の現地存続について（署名4,720筆提出）
令和4年5月	高等学校陸上部（1校）	●陸上競技場の現地存続について
令和4年9月	長崎市宮松山平和運動公園を守る会	●陸上競技場の存続問題に係る質問と説明の申し入れについて
令和4年9月	長崎市ゲートボール協会	●競技環境の確保について（口頭要望）
令和4年10月	長崎市陸上競技協会	●400mトラックの代替機能の確保について
令和4年10月	長崎市レクリエーション協会	●広場空間の確保について（口頭要望）
令和4年10月	長崎市ペタンク協会	●競技環境の確保について（口頭要望）
令和4年11月	長崎市老人クラブ連合会	●競技環境の確保について（ゲートボールやペタンクに利用）
令和4年11月	長崎市宮松山平和運動公園を守る会	●陸上競技場の存続問題に係る再申し入れについて（署名2,508筆提出）

※上記については、各競技団体から要望等が行われたものを一覧にしており、他にも各競技団体と適宜、意見交換を実施。

平和公園(西地区)のゾーニング(案)とゾーン別整備方針(案)



全体コンセプト : 平和の森 - 平和を願い、実践していく交流公園 -
西地区の基本方針 : 『平和を感じ、交流するゾーン』

●Eゾーン
水辺と道路高架下を活用した多目的な空間
 ・水辺と連携した憩い空間の形成 (Bゾーンとも連携)
 ・新たなスポーツ空間の創出
 ・南端部における眺望点や親水空間の形成
 ・高架道路沿いの連続した緑化

●Dゾーン
新たな交流・賑わいを創出する空間
 ・緑陰にあふれ、市民が身近に休息や散策などを楽しめ、災害時の避難場所ともなり得る空間の形成
 ・道路計画に支障をきたすスポーツ施設の代替地
 ・官民連携による賑わいを創出する来園者への利便施設 (飲食・情報発信機能等) の導入検討
 ・増加が見込まれる自動車交通に対応した交通処理機能 (地下駐車場) の導入検討

●Cゾーン
新たなつながりを象徴するエントランス空間
 ・ゆとりある歩行空間と緑化 (並木・花壇等) による象徴的な通りの形成
 ・周辺ゾーンへのシームレスな空間の形成
 ・官民連携による賑わいを創出する来園者への利便施設 (飲食・情報発信機能等) の導入検討
 ・増加が見込まれる自動車交通に対応した交通処理機能の確保検討

●Bゾーン
道路高架下を活用した多目的な空間
 ・時代のニーズに対応する多目的な空間として活用 (スポーツ、小広場、遊戯広場、駐車場、駐輪場など)
 ・浦上川沿いの親水護岸を活かし、水辺と連携した憩い空間の形成 (Eゾーンとも連携)
 ・高架道路を取り囲むような緑量ある緑地帯の形成

●Fゾーン
緑に囲まれたスポーツ環境を創出する空間
 ・道路計画に支障をきたすスポーツ施設の代替地
 ・下の川沿いの連続した緑化

●Gゾーン
既存のスポーツ施設を活用する空間
 ・道路計画に支障をきたさない施設は存置活用
 ・周辺ゾーンとの連携・調和

●Hゾーン
鉄道高架下を活用した多機能な空間
 ・公園機能のバックヤード (管理用駐車場や倉庫など) や災害時の備蓄倉庫など、多機能な空間として活用
 ・鉄道高架施設沿いの連続した緑化

●Iゾーン
東地区と西地区とをつなぐゲート空間
 ・東西地区をつなぐ安全・快適な歩行者動線や交差点隅切り部におけるたまり空間の確保検討
 ・増加が見込まれる自動車交通に対応した交通処理機能の確保検討

●Aゾーン
既存の大規模スポーツ施設等を活用する空間
 ・既存の大規模スポーツ施設、ペDESTリアンデッキ、地下駐車場は存置活用
 ・周辺ゾーンとの連携・調和

●各ゾーンにおける基本方針(案)の対応表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
① 多様なニーズに応じた、平和を発信するスポーツ環境の創出	◎	○	-	◎	○	◎	◎	-	-
② 市民に身近で、平和の尊さを感じられる憩いの空間の形成	-	◎	○	◎	◎	○	-	-	-
③ 長崎の新たな玄関口としての機能強化	-	-	◎	◎	-	-	-	-	◎
④ 連携と調和による機能的、魅力的な空間の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 効率的で効果的な施設整備と管理運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(1) 既存スポーツ施設の再配置（案）【イメージ図】



